

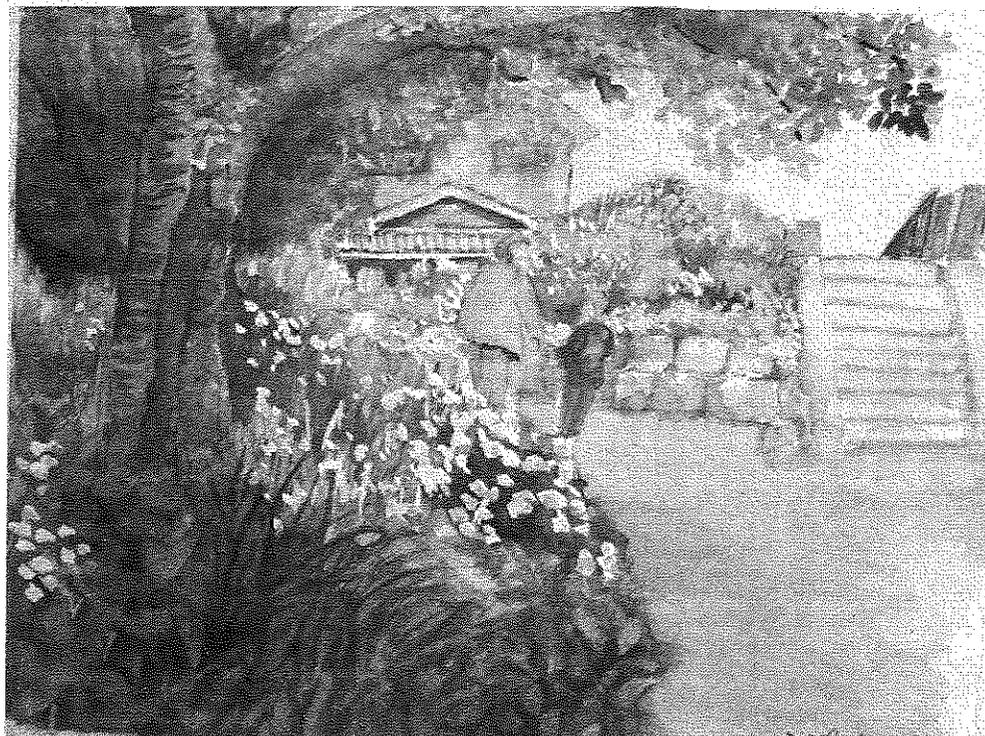


主な内容

- みんなで取り組む課題 ..... 2
- お知らせ ..... 3
- 全国部会厚労省要請・交渉 ..... 4
- ワークセンター総会と労使協議 --- 5
- ひろば ..... 6、7
- 暮らし支える年金を ..... 8
- 西から東から ..... 9
- 社会保障情報 ..... 10
- 行楽(高槻・芥川宿を散策) ..... 11
- 編集後記、まちがいさがし答え ---- 12

発行所

全日本建設交運一般労働組合(建交労)  
京都 事業団・高齢者部会  
〒601-8103  
京都市南区上鳥羽仏現寺町43番地  
TEL075-691-1007 Fax075-671-1641  
Eメール=kenkourou@titan.ocn.ne.jp  
発行日 毎月5日 一部30円  
NO. 281 (2019年) 8月号



散歩道のお花畑

上林 常哲

### お知らせ

まちから村からの連帯で、ひとりぼっちの高齢者をなくそう

## 第33回 日本高齢者大会

9月25日(水)～26日(木) 福島・磐梯熱海

京都支部・京都高齢者福祉事業団の  
代表派遣カンパにご協力を！

争いのない地球を1人が人として生きるため、世代をこえて手をつなごう！

## 21世紀/第19回 京都高齢者大会

日時：10月19日(土) 午前10時～午後3時30分

場所：ラポール京都(中京区・四条御前)

記念講演：二宮 厚美さん(神戸大学名誉教授)

テーマ「憲法にもとづく社会保障と日本経済の再生」

## 建交労京都府本部 女性部第19回総会

日時 2018年9月15日(日) 午前11時～午後2時30分

会場 京都高齢者会館 4階 ふれあいホール

＝ 仲間たちと、お昼はお茶付きの美味しいお弁当を  
食べながら、ゆっくりおしゃべりを楽しみましょう。 ＝

## 熱中症に気を付けて夏をやり過ごそう！

7月の天候不順で、作業中に熱中症かと疑われる状況が続いています。熱中症予防には十分な睡眠・休憩と水分の補給が必要です。かかった場合の応急手当は衣服をゆるめ、身体を冷やすこと。首筋や脇の下、股などの動脈が集中する部分を冷やすのが効果的です。そして速やかに病院などに行くことです。

予防策の1つに梅干し水はどうでしょう。水分・塩分補給とともに梅干しのクエン酸が疲労解消の働きをします。



## みんなで取り組む課題

### 京都支部

第9回執行委員会が7月17日に開催されました。

1、京都支部の取り組み

① 京都高齢者福祉事業団との労使協議 7月10日。  
交通費補助支給について協議した結果「一部見直して実施する」で合意した。

② 宇治高齢者事業団との労使協議 7月29日。

③ 京都支部・第23回定期大会について  
日程：10月20日(日) 午前10時～高齢者会館 4階

2、建交労、事業団・高齢者部会の取り組み結果

① 京都府本部自治体要請(5人参加)

◇ 7月3日 京都府、7月3日 京都市

② 全国部会の厚労省交渉 7月26日(1人参加)

③ 府本部戦争法反対・憲法宣伝 7月27日(土) 5時。

3、建交労、事業団・高齢者部会の取り組み

① 中央本部第21回定期大会 8月31日～9月2日。群  
馬・磯部 代議員・中村

② 全国事業団・高齢者部会第21回総会 9月2日。

幹事、代議員…大会参加者が出席。

③ 建交労京都府本部第21回定期大会 9月8日(日)  
午前10時～代議員は8人。【執行委員会中心に選出】

④ 府本部女性部第19回定期総会 9月16日(日)

⑤ 第57回事業団・高齢者・介護ヘルパー運動交流集会  
日時 10月26日(土) 1時～27日(日) 正午終了予定  
会場 東京・ホテルラングウッド

記念講演：講師 伊藤 千尋氏(ジャーナリスト)

4、京都総評・最低賃金引き上げを求める請願統一  
行動の取り組み

7月23日集会后、京都労働局へデモ、要請。京都支  
部は85名分を集約

5、高齢期運動連絡会の取り組み

① 第33回日本高齢者大会

○ 日時・場所 9月25日(日)～26日(月) 福島・磐梯

○ 代表派遣のカンパを取り組む。

② 第19回京都高齢者大会

○ 日時・場所 10月19日(土) 10時～ラポール京都

○ 分科会・講座…「高齢者の仕事と生きがい」京都支  
部と京都高齢者福祉事業団で受け持つ。

● 今後の執行委員会開催予定

第10回 8月21日(水)

第11回 9月18日(水)

### 建交労全国事業団・高齢者部会 7月26日 厚生労働省要請・交渉

▽建交労全国事業団・高齢者部会が厚生労働省との要請  
▽と交渉を行いました。この交渉には部会幹事、対策委  
▽員と東京の組合員が参加しました。京都からは部会の  
▽部会長である中村委員長が参加しました。

7月26日当日の交渉は、衆議院第2議員会館で行われ、厚労省からは、高齢者の課題と介護の課題それぞれに応じた担当部局から係官が参加して行われました。

最初に、高齢者の就労などについて行われ、厚労省担当官から「要請書」に基づいて、○高安法5条・36条の具体化は、



厚労省への要請交渉

らしい。○生活困窮者自立支援については認定事業所は増えてはいるが、さらに意見などをお聞きしながら進めていきたい。などと考え方の説明を行いました。

しかし、厚労省の姿勢は予算がないというだけでなく、高齢者施策全体で後退してように感じられました。

シルバー人材センターのみとなっており、

### 全国事業団・高齢者部会 第3回拡大幹事会開かれる

厚労省交渉の前日、7月25日に拡大幹事会が開かれ1月以降の活動のまとめと、9月の総会に向けての取り組みなどを確認しました。

その中で、①第21回総会を9月2日に開催すること。②生活困窮者自立支援制度の普及のため、新潟・広島で学習・説明会を開催すること。③第57回事業団・高齢者・介護ヘルパー運動交流集会を10月26日、27日に東京で開催すること。④日本高齢者大会の分科会を部会が担当すること。などを確認しました。その後、「事業対策」「介護制度」各委員会が開かれました。



### ソーシャルサービス協会・ワークセンター 事業報告と事業拡大方針を確認 = 第19回総会開く =

7月17日、ソーシャルサービス協会・ワークセンターが第19回総会を開催しました。ワークセンターの事業は多岐にわたり、京都市が民設民営による救護施設を新設し、緊急一時宿泊施設との一体化や中央保護所の廃止などを行ったことで、生活困窮者支援、ホームレス自立支援は大きく変化することとなりました。

このような情勢の下で、今後の事業の存続と新規事業の確保に向けて取り組みを強めなければならぬことが強調されました。

総会は、議長に鷺見氏があたり、

議事がすすめられ、①清掃事業部、②京都市自立支援センター、③緊急一時宿泊所の訪問相談事業、④能力開発推進事業、⑤ホームレス居宅生活定着支援、⑥京都市ホームレス衛生改善事業、⑦サポートホームの担当者らから、事業報告

### 京都高齢者福祉事業団 と労使協議

京都支部は、京都高齢者福祉事業団と宇治高齢者事業団とそれぞれ労使協議を行いました。

■京都高齢者福祉事業団とは、7月10日に行い、組合側からは中村委員長、松永書記長、青木・北尾両執行委員が出席。理事者側からは斎藤理事長等3人が出席して行われました。

当日の議題は「交通費の補助支給」について行われ、意見交換・協議の結果、基本的には支給する

ことで合意しました。

■宇治高齢者事業団とは、7月29日に行い、組合側からは中村委員長と分会四役（山本分会長、小林副分会長、嘉村分会執行委員）が出席。理事者側からは梅原代表理事等4人が出席して行われました。

当日の議題は、①事業収支について、②事業団の41周年記念事業の準備状況、③駐輪場問題での労働組合への協力要請、④夏季懇親会などで協議、意見交換を行い、駐輪場問題では労働組合として意見を提起することで合意しました。

# ひろば

宇治高齢者事業団共済会  
で夏季懇親会

京都支部・宇治分会

嘉村 茂

今年も8月2日と3日に分けて、宇治高齢者事業団共済会の「夏季懇親会」が行われました。今年も、焼き肉で行われ2日は23人が参加しました。

当日はJR宇治駅へ神明く近鉄大久保駅と送迎バスで迎えに来てもらったのサービスタクシ。座敷に通されて、卓を囲み梅原代表理事から、この暑い中でお仕事を頑張ってもらっていることへの労



楽しかった夏季懇親会

をねぎらった挨拶が行われ、早速乾杯をして焼肉のジュージューの音をさせながら口に運び、ビールで喉を潤しました。それに満喫したところから「カラオケ大会」となり、歌われた方は普段から喉を鍛えられていたのか、感情込めて歌われていました。

当日の参加者は理事や団員だけでなく、普段お世話になっている弁護士さん、会計事務所の方、京都支部の委員長さんなどからも参加があり、参加者からは「こういうことのできるのも高齢者事業団で働いているからだ、来年もやろう」と云

われており和やかに満足したひと時でした。



## 良かった改憲勢力の

3分の2割れ

京都支部 柳井 淳

先の参議院選挙で、改憲勢力の3分の2を阻止

で行われます。

京都のうたごえ運動は、1949年「京都ひまわり合唱団」の創設によつて始まり、2019年で70周年を迎えます。誰もが歌の主人公となり、うたうことが生きていく力になることを願つて、ともに歌い続けてこられました。京都のうたごえ運動70周年を祈念して、今年の「日本のうたごえ祭典」が京都で行われます。

◆11月29日・12月1日は「合唱発表会」

◆11月30日は、ロームシアター京都、メインホールで3つの音楽会があります。

◇音楽会Iのテーマは、

## 「川柳」

京都高齢者福祉事業団・OB

池田 東一

かげろうの 道をチャリ漕ぐ 禿げ頭  
氣い付けや 熱中症に 要注意  
草刈機 唸りを上げる 河川敷  
曲る腰 根性曲げぬ 昭和爺  
過疎のバス 病院通う 爺と婆  
無農薬 田螺が描く 世界地図  
じゃがいもは 少子化時代 子沢山  
遅れ子の 芋芋親に しがみ付き  
二人きり 仄かな恋よ 観覧車  
そこに有る 唇なのに 遠い距離  
久し振り ネクタイ締めて 祝酒  
ワンダフル 叫ぶ瞳は エメラルド  
父の日に 女房が乳を プレゼント  
急がずば 転ばぬ先に 自作杖  
団地内 牧草繁り 牛飼える  
網掛けて 大事に守る 捨てるゴミ

## 【原稿募集】

趣味、暮らし、仕事のことなどを「ひろば」に書いて下さい。



11月29日(金)〜12月1日(日)の3日間、「日本のうたごえ祭典」が京都

**2019年日本のうたごえ祭典・京都**  
 一手をつなごう未来(あした)へー  
 日時: 11月29日(金)〜12月1日(日)  
 会場: ロームシアター京都  
 料金: 各音楽会(全席指定)  
 S席3,000円、A席2,500円



手をつなごう〜原発のない社会、いのちの水びわこを守る」

◇音楽会IIは、「生きる

こと・働くこと」

◇音楽会IIIは、「へいわへのバトン」

青年、女性、障害のある仲間、働くなかまみんなと共に歌うことで現実と向き合い、力を合わせて乗り越えていこう!そんな思いを込めたステージです。

この他にも、ノースホールで「うたごえ喫茶大交流会」やロームスクエアでのパフォーマンス広場など盛りだくさん。みなさんもぜひ参加して、楽しい一日を過ごして下さい。(山田 憲司)



## まちがいが8カ所

さて、「どこ」? 答えは12ページ

「から選挙投票を行った成果だと思えます。来年は京都市民にとって重要な年です。京都市長選挙があるからです。今の市長は、安倍自公政権の京都版と云われるほど中央いなり政治をすすめています。様々な要求・思いを持ち寄り京都市長の交代を願いたいものです。」

# 暮らしを支える年金に マクロ経済スライド廃止せよ

- ▽厚生年金だけでは老後資金が2000万円不足する
- ▽足るなどとした金融庁の審議会報告書をきく
- ▽かつて、年金不安が高まり、年金給付を自動的
- ▽に削減する「マクロ経済スライド」の是非が問わ
- ▽れ、これを完全実施すると、年金給付は7兆円削
- ▽減されると安倍首相も自ら認めた。

## 給付削減7兆円

安倍首相は、国会でマクロ経済スライドの廃止について「ばかげた案だ」などと批判し、「やめてしまつてそれを保障するには7兆円の財源が必要」と発言。首相自ら、マクロ経済スライドが7兆円の年金給付削減という痛みを国民に押し付ける仕組みだと暴露したのだ。

従来、政府はこの仕組みでどれくらいの規模で年金削減になるか数字を隠してきた。5年毎に公的年金の将来見通しを確認する「財政検証」の公表も政府は7月の参院選後に先送りした。

ただでさえ少ない年金給付。7兆円削るマクロ経済スライドは廃止し

て「減らない年金」にすることは国民にとって切実な願いだ。

3600万円不足

そもそも金融庁の試算の年金月額21万円（夫婦のみの無職世帯）は、厚生年金の平均を上回る額。平均月額5万1500円の基礎年金の人、約720万人を無視している。

また、現在41歳の人はマクロ経済スライドなどで削減が続くことから、65歳となる2043年時点で約3600万円が必要という試算も明らかになっている。

幅を低く抑え、実質的に削減するもの。この仕組みなどによって安倍政権の7年間で年金は実質6・1%も減った。この仕組みのもと、現在41歳の人65歳で年金を受け取れるようになるまで減らされ続ける。「100年安心」などと繰り返し国会で答弁、国民をだましてきて、今さら「自己責任で2000万円貯金せよ、投資せよ」とは、国家的詐欺だ。

減らない改革を

減り続ける年金から暮らしを支える年金へやるべきことがある。

まずマクロ経済スライドを廃止すること。年収1000万円を超える人と保険料負担率が下がっていく不公平も正すべきだ。

さらに約200兆円にのぼる年金積立金の「温存」「投資」をやめて計画的に取り崩して活用する。年金底上げは消費・景気上昇につながるのだから、投資に使うより堅実だ。

年金の支え手である現役労働者の賃上げなどで保険料収入と加入者を増やせば年金財政を安定化させられる。さらに大企業や富裕層への優遇税制を止めれば、最低保障年金制度の確立も可能である。【宣伝研究より】

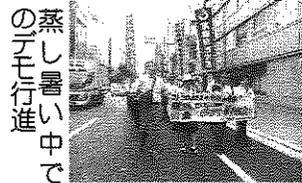
# からから 西東

■京都総評が最低賃金引き上げ求め  
デモと個人請願

7月23日、京都総評の「京都労働局への昼デモ&個人請願行動」が行われ、中京区の御射山公園で集会を開き、昼デモの後京都労働局で個人請願の提出を行いました。

当日は、集会では、梶川総評議長から挨拶が行われ「8時間働いて普通に生活できる賃金にすべき」と呼びかけ、また、京都生協パート労組から基本賃金を引き上げるためにも最低賃金の引き上げが重要と発言されました。

最後に総評事務局から「京都最低賃金審議会」などの動きが報告され、審議会に向けての行動が呼びかけられ、その後、



蛸薬師通りから烏丸通りに出て御池通りまで市民に「最賃の引き上げを」「政府は中小企業支援策を強めよ」とアピールしながらデモ行進を行いました。



労働局前で労働局長に「生活保護以下の最賃をなくすよう」「暮らしを支える最賃に引き上げて欲しい」「最賃引き上げのために中小企業への支援策の適用と制度改善、大幅な予算増額を」などと云って「個人請願署名」を提出しました。当日は全体で7000筆を超えた請願が提出されました。京都支部からは85筆を提出しました。

■建交労本部・青年部「反核トラックキャラバン」行動

建交労青年部は、23回目となる「核兵器のない未来をめざしたト

## キャラバン後、ハイパチリ



2年になり、批准化に向けて重要な取り組みとなっています。参加者は、ピラ・テッシュを配布、署名行動を行いました。

ラックキャラバン」を取り組み、7月30日に東京都庁前を出発し、8月1日京都に入りました。

当日は、遅い梅雨が明けたが蒸し暑く、立っているだけで汗がにじみ出る中での行動でした。

例年のJR京都駅前、市民や観光客に、宣伝カーから「核兵器を廃絶し、恒久平和な日本を実現しよう」「私たち青年の未来には核兵器や原発はいらない」「被爆国にふさわしい政治は草の根からの市民の力で実現を」などと訴えていました。今年2017年7月に「核兵器禁止条約」が採択されて

2月に京都社保協、京都高運連及び年金者組合京都府本部が提出していた「後期高齢者医療制度の改善を求める請願」は、京都府後期高齢者医療広域連合議会で不採択となりましたが、その時の「趣旨説明」と「討論」の一部を紹介いたします。

◇趣旨説明の冒頭で、高齢者を75歳という年齢によって差別する医療制度である後期高齢者医療制度は廃止すべきであり、当面、医療保険料を引き下げること指摘したうえで、  
◇国は、後期高齢者医療保険料の被保険者均等割について、保険料軽減特例を今年度と来年度の2回にわたって撤廃し、被用者保険の被扶養者だった方の均等割軽減も同様に縮小、

### 情報 社会保障

撤廃する計画としている。  
しかし、制度開始時に保険料軽減特例を設けざるを得なかったのが事実。その当時と比較をしても高齢者の暮らしは当時よりも一層厳しくなっている。  
◇ある78歳の独居の高齢者の状況について紹介する

が、介護保険の要介護度は2と認定を受けておられる。年金収入は月10万円。ここから後期高齢者医療保険料と介護保険料を合わせ月1万円分が年金から天引きをされて、医療機関に通うためにはタクシーを使わざるを得ず、交通費と医療費で月4万円かかっている。介護サービスは週2回の訪問介護と訪問看護で、その利用料を合わせると月1万円かかっている。食事は昼食と夕食、1日2食の配食弁当を利用しておられるが、その弁当代が1日900円かかるといふ状況。もちろん、これ以外の個々の後期高齢者が置かれている暮らしや医療、介護の状況はそれぞれ異なるが、いずれも今以上に保険料が引き上げられると、今受けている医療や介護への影響、生活全般に与える影響ははかり知れないものと言わざるを得ない。

今一つは、次期保険料率の改定に向けて定率国庫負担割合を増やすなど財政支援を拡充すること。後期高齢者の窓口負担割合の引上げをやめること。保険料軽減特例の廃止をやめること。  
今、述べた請願の内容は、後期高齢者医療広域連合全国協議会が国に求めている内容及び京都府後期高齢

者広域連合が京都府に要望している内容と一致している。

◇討論では、後期高齢者医療保険料の軽減特例措置が廃止となれば、その影響を受ける人数は、京都府内でおよそ15万3000人、全体の42%に上る。2年ごとに改定となる保険料は、後期高齢者医療が始まって以来、値上げが続いている。また、保険料特例軽減が廃止となれば、保険料が2倍、そして3倍となり、年金生活者の負担増は免れない。その上、原則1割の窓口負担を2倍にしようとしている。

政府は2008年当時、現役世代より低い1割負担で心配なく医療を受けられると、このように売り込んでいたけれども、それを今、覆して、高齢者に次々と負担を押しつけている。このような理不尽なやり方は到底許すことができない。

また、滞納者に対する差押えに至っては、老後の生活の保障である年金や預貯金、ここが中心で差し押えられている。そもそも、病気がちになりがちな高齢者、その一方で、年収が非常に少ない、暮らしが不安定な人が多いこの高齢者を一つの保険に集めて運営する制度設計そのものに無理がある。

### 行楽

#### 高槻・芥川宿散策 白壁と格子窓が残る昔町

京都支部 中村 崇

大阪・高槻の知人を訪ねるのを機会に「仲間」5月号で触れた「西国街道」を少し歩いてきました。西国街道はご存知かと思いますが、京都の羅城門から久世・山崎・高槻を経て西宮で中国街道に出会うまでの64kmの街道で、かつて織田信長や豊臣秀吉、三好長慶、高山右近らが駆け抜けた。江戸期には、西国大名の参勤などに利用されました。今回はその内の高槻市内の数キロです。

◇ JR高槻駅から少し北に歩くと大きい鳥居があり上宮天満宮です。ここは創建から1050年余りで、太宰府天満宮に次ぐ日本で2番目に古い天満宮であり、菅原道真を主祭神に、武日照命・野見宿禰を配祀しており、原始林に囲まれた境内は4万平方メートルと広大で、織田信長が摂津侵攻の際に本陣を張ったとされています。

◇ その前の今は広い通りになっている西国街道を猛暑の中を歩き出したのですが暑すぎて、街道と並行している「芥川商店街」を歩きました。商店街はアーケードもあり、暑さも和らぎます。この突き当りが「芥

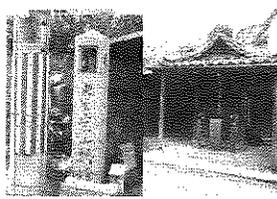
芥川一里塚



川一里塚」です。

一里塚とは主要な街道の一里ごとに塚を築いてエノキを植え、路程の目印にしたものです。

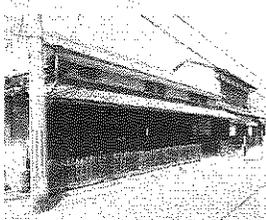
橋爪地藏



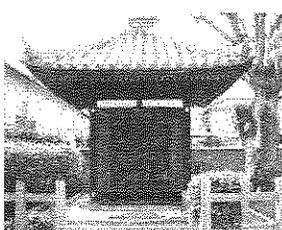
脇に「橋爪地藏」がありそこに「愛宕山献灯」の石碑がありました。

#### ◇ 清福寺太子堂

棟札から明和2年(1756年)に建立されたとされ、江戸期に御所・幕府関係の建築のために組織された、摂津十組大工の一つ・清福寺が大工仕事の繁栄を祈願し、大工職人にとって始源神に当たる、聖徳太子少年像を安置しています。



わずかに残る白壁の町屋

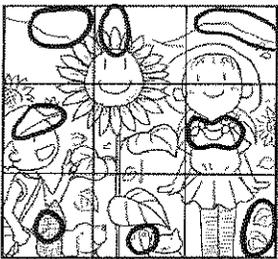


清福寺太子堂



## 編集 後記

◆先日、外国人労働者のことで話を少し聞いた。京都は観光客としての外国人は以前から見えていたが、『労働者』としては他の都市と比べて新しい方であろう。◆そもそも外国人研修制度は1990年代に繊維産業で始まり、2000年代には自動車産業に広がった。労働者派遣法が製造業に解禁された時期と絡む。しかし、1年目の研修生には最低賃金が適用されないため、賃金が安いからと訴えても相手にされなかったという。◆受け入れた酷い事務所では、研修生が逃げないよう高額な保証金をとり、パスポートと貯金通帳を取り上げていたという。◆あまりにもひどいというので2009年入管法が改正され、1年目から「技



能実習生」として労働法が適用されることとなった。10年代に入ると団塊の世代が定年となり、労働力不足となる。そうなる様々な分野に外国人実習生が増え、今では人手不足の農業や建設業、運輸業、サービス業などの現場では欠かせない存在になって現在では128万人を超える勢い。◆国別の外国人実習生・労働者は10年前は大半が中国人だったのが、ベトナム、インドネシアと増えていき、今ではミャンマー、カンボジア、ブータンなどからも実習生が来ている。◆労働力不足の現状の中、長期的に労働力を確保するためなら、日本人と同等な社会保障制度の適用も含め受け入れ政策を具体的に進めることが重要な時期に来ているのではないか。(中)